

【選手案内】

木曾三川トライアスロン大会

- ☆ 東海ブロック大会
第32回日本トライアスロン選手権(2026/東京台場)東海ブロック代表選考大会
第80回 国民スポーツ大会 県代表選考会
- ☆ 2026木曾三川トライアスロン大会(エイジ)
- ☆ 2026長良川アクアスロン大会

開催日:日程

2026年 6月 7日(日)						
駐車場オープン					5:30	～ 16:30
受付(東海ブロック大会)					6:30	～ 7:30
受付(エイジ)					7:00	～ 9:30
受付(アクアスロン)					7:00	～ 9:30
バイク試走					6:40	～ 8:00
トランジションオープン(ブロック)					6:40	～ 7:40
トランジションオープン(エイジ)	途中競技進行により、閉鎖の指示をします。 他の競技中は十分な時間が取れない場合があります				7:00	～ 10:30
開会式:競技説明会	放送にて実施				7:45	～
スイムアップ ブロック選手権			スイムキャップ		7:30	～ 7:45
東海ブロック男子入水チェック					7:50	～
東海ブロック予選 男子 スタート			白		8:00	～
スイムアップ ブロック選手権女子					8:55	～ 9:10
東海ブロック女子入水チェック						
東海ブロック予選 女子スタート			赤		9:20	～
木曾三川トライアスロン大会 エイジ:アクアスロン						
スイムアップ エイジ					10:30	～ 10:45
スタート集合:スタート地点					10:45	
入水チェック:エイジ					10:50	
エイジ一斉スタート	男		緑		11:00	～
	女		桃		11:00	～
スイムアップアクアスロン					11:05	～ 11:20
アクアスロンスタート地点集合	スイムチェック				11:30	～
アクアスロンA、Bスタート(同時)	A		黄		11:35	～
	B		水色		11:35	～
表彰式(東海ブロック大会)					11:40	～予定
アクアスロン大会						
一般13:40～を予定年代別は確定次第順次行います。						
公園敷地内からの退園時刻					16:30	

- * 気象条件、国営公園利用規則等その他の事由、大会実行委員会の判断により、大会の中止、縮小、競技種目や距離の変更、競技途中での中止、終了となる場合があります。
- * 大会進行状況により、タイムスケジュールが変更される場合があります。
場内放送にてご案内いたします。一部施設内におきましても聞き取れない場所が有ります。ご注意ください。

競技場所

岐阜県海津市 国営木曾三川公園内 ”アクアフィールド トライアスロンコース”
(駐車場は、展望タワー南から、長良川の右岸河川敷、第一駐車場から上流約2km付近)
応援者は、長良川サービスセンターから、河川敷コースへおこください。

表彰

東海ブロック選手権 男女各1位～3位

トライアスロン(一般) 総合 男女各1位～3位
年代別 男女各1位
29歳以下:30～39歳、40～49歳、
50～59歳、60～69歳、70歳以上
フィニッシュ後15分ぐらいにて表彰状を準備します、本部にて表彰状を。
お渡します当日のみですので、対象者はお越しください。

アクアスロンA、B 男女各1位～3位

入賞者には、表彰状が授与されます。
表彰式は、入賞者確定後、表彰式の準備が整い次第ご案内します。
入賞者は、レース後場内放送にご注意ください。

競技規則 本大会競技規則は（公社）トライアスロンジャパン（以下TRIJと表記する）の公表された競技規則及び大会ローカルルールが適用されます。

東海ブロック予選会 特記事項(会場案内、表記の無い項目は、エイジと同じ。)

ドラフティング許可レース。ただし、異性間のドラフティングは禁止。同性間での周回遅れの選手(LAP)は、他の選手へドラフティングをしない、させない。ペースの早い選手に積極的に進路を譲ること、として競技を続けることができる。違反者はDNFとなり、審判員のコールに従い、その場で競技を中止する。

バイクセット、試走は7:40までに終了してください。

バイクセットは金属パイプ型(約高さ90cm)。第1トランジションでは、レースNo.の貼ってある側をハンドル側にして、サドル掛け。第2トランジションは、同じ場所にハンドル2点、ブレーキレバー2点、または、サドル掛け、前後の向きは指定なし。一輪接地要但し、強風他の影響により、競技スタート後においても変更となる場合もある。

用具は、指定された用具入れに入れる。ない場合は、No.シール側にまとめる。バイクシューズは、バイクに取り付けていても良い。バイクから外れたバイクシューズは、用具入れに入れる。ヘルメット、サングラス、グローブ等の用具は、容易に落ちないように、バイクにセットできるが、第2トランジションでは、バイクに固定できてない場合は、用具入れに入れる。

バイク、用具は、まとめてください。散乱、投げ捨て、他者への迷惑もペナルティの対象となります。

バイクは、1周5kmのコースを左回りに、8周回します。サイクルメーターを取り付け推奨。

ホイールストップをテニスコートの北側付近に設置。大会側での予備ホイール、メカニックは準備しません。

7:00～7:30の間に、ホイールストップ場所にホイールをセット願います。ネームプレートを各自で準備願います。

ドラフティング許可レースのため、バイク競技中は、常に前方に注意して、ブレーキのかける状態で走行する。

- ペナルティ** 違反者は、その場でのコールなくペナルティとなる場合があります、スイム、バイク競技において、ペナルティボックスをランコースに設置します。ペナルティを受けるのは、選手側の判断です。ペナルティボックスの前に表示板を設置し選手のレースNo.を表示します。ペナルティボックスに入ったら、審判員にNo.を告げペナルティを受けてください。受けない場合は失格です。(手順、時間等、TRIJ発表競技規則による。)
- その他** 水温20度以上で、ウエットスーツ着用禁止。気温による補正は無し。
- レースバック シール大 バイクサドル下右側面。シール小2枚 ヘルメット両側。スイムキャップ。
レースNo.カード1枚。バイク時背面、ラン時前面。前面を優先。日本選手権の適合競技ウェアの場合は、不要。

共通項目：競技上の注意（エイジ：アクアスロン）

注意事項

アクアスロン：ブロックは一部共通

TRIJ公表の競技規則及びローカルルールを適用

当日、車は必ず指定の（河川敷）駐車場にとめてください。閉門時間を事前に確認下さい。鎖にて施錠します。

- 駐車場** **岐阜県海津市**の木曾三川公園展望タワーより河川敷に降り、河川敷道路を上流へ。約1.5km
他の駐車場を利用されますと大会に支障があります。また、大会選手用の駐車場でない場合は、大会終了まで出れない場所もあります。前日コースの下見はできますが、公園内は一般開放されています。一般利用者也利用していますので、注意してください。遊泳は、禁止です。

建物、施設案内

大会時以外の遊泳は禁止です。

国営公園内を使用しておりますので、一般の使用者にご配慮いただき、ご利用ください。

男女別更衣室、コインロッカー、（100円使用：返却式）シャワールームがサービスセンター3階に

設置されており、人数分には不足しますが、譲り合いご利用ください。

コース

陸上コースは舗装されておりますが、荒れているところもあり、

砂利や砂が浮いていたり窪み等あり、注意が必要です。

競技中以外でもバイク乗車時はヘルメット着用ストラップをきちんと締めてください。

コース内を応援者、一般者が横断、通行する場合があります。接触に注意ください。

また、常に前方に注意し、不測の事態に備えてください。

バイクを会場に配達される方は、実行委員会までご連絡ください。

体調管理

大会前には、医師の診断を受け、完走するのに余裕のある体力を有することをご確認ください。レースは、長時間かつ過大な運動量を必要とされます。

大会前日の飲酒、夜更かしは控え、食事、水分を十分に摂りゆっくり休んでください。

大会当日は、適度な朝食をとり水分補給、捕食の準備を願います。

河川敷特有の天候になる場合があります。異常な暑さ、寒さ、風雨等に対応できる準備をお願いします。

体調が少しでも不安を感じる場合は棄権して、次回のレースに参加するようお勧めします。

近年無理をして死亡するスポーツ事故が多くなっています。棄権は勇気ある未来につながる判断です。

バイク試走

選手権、エイジのバイク試走は、前日又は当日の指定時間内をお願いします。

周回ポイントや、合流、分岐、折り返しと事前に必ず確認の試走をしてください。

トランジションからバイクコースには入れません。一度出て、川側から、コースに入ってください。

受付

受付時にレースNo.、氏名を申告ください。受付場所はレースNo.で区分されています。

事前にHPに掲載。また、受付付近に掲示しますので、ご自分のNo.を確認の上お並びください。

<p>配布物</p> <p>レースNo.カード (ゼッケン)</p> <p>バイクシール マーキング 用具の検査 記録</p>	<p>レースNo.1枚、バイクシール1枚、スイムキャップ。 太字油性マジックにて、数字縦書き、上腕。(両腕)または、手の甲 安全ピン又はベルトにて取り付け。腰より著しく下がらず、見苦しく無い位置。 バイク時＝背面、ラン時＝前面。前面を優先します。必ずつけてください。 サドルの右下側、走行中にはがれないように貼り付けてください。バイクセットと、ピックアップ時にも、No.確認します。 ボディナンバリングは、受付の混雑を防ぐため、事前に各自で行ってください。当日、受付場所でも行えます。 事前検査は行いません、各自にて十分に点検、整備、検査し、TRIJ規則に適合したものを使用してください。 計測は、電子計測、スイムフィニッシュ、ランスタート兼用、総合フィニッシュの2か所。計測バンド(計測チップ、計測タグ)を、 スイムスタート10分前より、スイムスタート付近にてお渡しします、レースNo.を確認し、どちらかの足首にしっかりと 取り付けてください、(マジックテープ+ゴムバンド)途中で落としたり、違うものをつけていると 正確な記録が測定できなく完走されても”棄権”となります。ご注意ください。 記録計測器具の紛失、未返却者には実費請求させていただきます。 レーススタート前、レース中は常に、取り付け状態を確認してください。 各競技のタイムは、計測地点でのタイムの為、実際とは多少異なります。ご了承ください。 フィニッシュタイム、着順共に電子計測での測定を基本とします。</p> <p>リタイア</p> <p>体調の急変等、通常と違う状況が発生した時は、すぐにレースを止めスタッフや選手に連絡ください。 大会会場は広範囲に及び、主催者側だけの安全管理では予測のできない状況もあります。 自身の体調は自身で管理し、参加者同士のセルフレスキューも必要です。 調子の悪い選手には一声かけ、出場選手全員が事故なく終われるようご協力ください。 又、様子のおかしい選手を見かけました場合は、お近くのスタッフまでご連絡ください。 リタイアする場合は、必ず計測バンドを大会本部に直接、返却ください。 リタイアする場合でもコースの内の逆走は禁止です、コース外の芝生内を歩いてください。 (周回コースの場合は、本部に戻るのが逆走となる場合は、反対側に横断してください。)(復路側) 大会運営上や選手の不調等による、ドクターやスタッフの判断により、棄権とする場合があります。 大会スタッフからの棄権の指示に、すみやかに従い競技を中止ください。 棄権後も、レースNo.ゼッケン、バイクシールは必要です。破棄、紛失しないでください。</p>
<p>緊急時の心得</p> <p>スイム バイク:ラン 救護</p>	<p>競技を停止し、頭上にて大きく手を振る。大きな声で要請する。 近くのスタッフや、選手に声をかける。バイク自走困難な場合は、状況を見て、搬送車を用意します。 体調の急変時にはスタッフや周囲の選手に連絡ください。 医療スタッフは、本部テントに配置され、必要に応じ対応できるよう待機しています。 会場には救護車両が用意されています。セルフレスキューが困難な場合等、周囲のスタッフまたは選手に 依頼ください。バイクの回収や選手の送迎については、レース状況を見ながら、終了後となる場合もあります。 重大な事故に関しましては救急搬送いたします、健康保険証の写しや、確実な緊急連絡先が必要です。 先導、救護等の為、モーターバイク、車両がコース内に入ります。 緊急車両、大会車両通行の際は、左側に一列となり徐行又は停止してください。ご協力をお願いします。 緊急時は選手間の追い抜き禁止。競技中、体調の悪い選手へは、スタッフから棄権の指示を与えます。</p> <p>コース</p> <p>周回数、コースミスは自己責任です。失格となる場合があります。 コースから逸脱した場合は、元の場所より復帰ください。できれば、近くのスタッフの 確認を申請願います。スタート前に、必ず自信でコースの確認をお願いします。 周回数の審査に関しては、周回計測、タイム、前後の競技者、内容、 スタッフの意見、バイクにおいては距離計、等より総合的に判断します。 スタッフが周回数やコースを競技中に教えることはありません。周回が足りない場合は棄権となります。 コースの一部は、選手間の交差、一般者の横断など接触の危険のある箇所がいくつかあります。 コースは一人での閉鎖されたコースではありません。前方や周囲、路面状況に注意して安全に走行してください。 特に、スイムの上り口のコンクリート坂路、バイクのカーブ、合流、サンドコート横の舗装面上に吹き上がった砂、 ランコース、バイクコースにおける一般者のコース横断、前方選手の急な進路変更、ブレーキングなど 十分注意し不測の事態に備えてください。自分は良くても、前方者、横の選手が倒れる場合もあります。 コース設定が河川敷のため、特性上みずはげが悪く水たまりができる箇所も何ヵ所かあります。 ヘッドセット等の使用は禁止します。他からの音声の確認できないため、規則として禁止です。</p>
<p>スイム</p>	<p>1周500mのコースを右回りに3周します。コースロープが設置されています。 ウェットスーツ着用推奨、水温15.9度以下は着用義務。スイムチェック後はアップはできません。 スタート55分後(気候により短くなる場合があります)において、スイム競技中(スイムフィニッシュの計測地点を通過して、 トランジションにむかっていない)の選手は、競技中止とします。それ以外においても、スタッフから中止の指示がありましたら、 速やかに従ってください。スイムに自信のない方は、スキップを申し出て、バイクからスタートできます。 スイムスキップは、次のとおり。①スイムスタート後30分以内。②3周回目に入っていない。 ③スイム最終選手のバイクスタートまでに、バイクスタートする。 希望者は、スタッフに申し出てください。コースの状況により、バイクスタートおこないます。 水上よりフローティングスタートとし、下流へ250m。折り返しブイと、スタート地点のブイを回る。 スイムフィニッシュは、コンクリートスロープから上がります。滑りやすいので、注意してください。 水深の浅い箇所があります。特にスタート付近の飛込みの際は、事前に確認ください。 岸側には、コンクリート護岸があります。岸川5mぐらいには、近寄らないでご注意ください。 競技の途中で休憩することは、認めます。 救助の場合は片手を頭上で大きく振り、大きな声で救助を求めてください。</p>

- トランジション** トランジション内は出入口が制限されております。チェックインは、テニスコート南西1か所。選手以外は入れません。選手、バイク、ヘルメット、ゼッケン他について審判員のチェックを受けてください。
- トランジションにバイクをセットするのは、なるべく8:00まで。それ以降は時間制限での入場です。レースNo.カード、ヘルメット、バイクNo.シールをサドル下、右側に貼って本人が入場。ラックにかける際、ラックのNo.シールが貼ってあるほうがハンドル側になるよう、サドル掛けとします。
- 荷物は、バイク終了後もセット時と同様に小さくまとめて他者の競技の妨げとならないよう。走路はレースNo.の表示側。トランジションに入ると、バイクのハンドル側を走り、ヘルメットをかぶり、ストラップをしっかりと締めた後に、バイクを取り出す。バイクが終わるとトランジションに入ると、先程と同じコースを走り、バイクをラックにセットした後に、ヘルメットのストラップを外してください。この時のバイクのかけ方は、ハンドルの両側またはブレーキの両側、サドル掛けのいずれか。方向は問いません。バイク、荷物はセットした時と同じように整頓して設置してください。トランジション内は乗車禁止。片足ペダル走行も禁止。
- バイク乗車は、乗車ラインを越え片足が地面にしっかりと着いた後。
- バイク降車は、降車ラインの手前で片足が地面に、しっかりと着いていること。ラインを踏むのは違反。
- トランジションエリアには選手以外入れません。レースNo.をつけて入場。また、クローズ後は選手も入れません。
- 荷物はレースに必要な物を最小限にまとめ【50cm立方体程度以下を推奨】使用するもの以外は禁止。ハンドル側に置いてください。他の選手やレースに支障をきたす場合は、注意、係員にて移動いたします。ご了承ください。カバン、袋、着てきた服等自分の荷物も禁止。
- トランジションにおきまして、バイクや荷物の移動、設置方法の変更をお願いする場合があります。(ルールや運営上不具合の場合) 場内放送にて連絡いたしますが、係員にて、荷物やバイク設置等の移動を行う場合もありますので、ご了承ください。
- 会場内、トランジション内での荷物の紛失、取り間違いが他会場で発生しています。貴重品の管理には注意してください。
- バイクピックアップは係員の指示に従ってください。場内放送にて案内いたします。
- ピックアップの際は必ずご本人がレースNo.を持って(付けて)引き取りに来てください。
- バイクに貼ってあるレースNo.と本人のレースNo.を照合させていただきます。
- 悪質な盗難、取り違いの事故が各地で発生しております。ご了解願います。
- 本来は、全競技者がフィニッシュ後にバイクの引き取りが始まりますが、遠方からのご来場者もおられるため、担当審判員の配慮にて、安全が確保できる場合は、レースの途中で引き取りを行います。
- ピックアップの際、まだレース中の選手がいます。コースを開け、停止願います。
- 選手が通行する際は、ホイッスルにて、呼びかけますので、その場で停止願います。
- ピックアップの開始時間の後、残っているものについては係員が移動させる場合があります。ご了承ください。必ず選手がレースNo.を持って引取りしてください。
- コースや周回数が、ブロック選考会とは、異なる箇所もあり、事前に確認してください。
- バイク** 会場内ではバイクに乗り移動する際は必ずヘルメットをしっかりとかぶり、ストラップ締めてください。左回りにて、1周5kmのコースを8周回行います。サイクルメーターの設置を推奨します。左側走行、右側から追い越し。ドラフティング禁止レースです。前輪先端から後方12mをドラフトゾーンとします。追い抜きは25秒以内。
- バイクでの接触は、重大な事故を招きます。前方や周囲のバイクが、急に進路を変えても対応できるように、車間を十分に開け、(車間距離12m以上)不測の事態に対応できるようにしてください。前方、後方の進路を予測し、安全を確保する。
- バイクでの事故が多く発生しており、選手や観客が大げがとなるのを予防するため、次の区間を徐行。区間とします。最大限の注意が必要です。
- 合流、分岐、折り返し、曲線区間内とその手前100m、通過後30m。
- バイクスタートする選手とすでにバイクを周回している選手の接触が、発生しています。
- また、フィニッシュと周回の選手による進路変更や先行選手の減速や速度差による接触。常にブレーキポジションとし、不測の事態に備えてください。
- バイクスタート後、合流に於いては、周回コース上の選手を、フィニッシュ時はその選手を優先とします。
- 周回遅れでバイクコースに入る選手は、誘導員の指示及前方を自分で確認し、優先権のある選手にコースを譲ってください。
- 観客等がコースを横断されたり、すぐ横で見られている場合大変危険です。、前方を確認し、注意してください。これらの区間ではブレーキをすぐに掛けれる状態で走行ください。
- 大会側でのバイクや用具の点検は行いませんが、不適合の物品は使用できません。必ず、大会前にTRIJ規定、適合していることを確認し、安全に競技できる、整備、点検した後に参加ください。ヘルメット、バイクボトルも同様に規定に沿ったものを準備願います。バイクボトルに、ペットボトル装着は脱落等及び、操作が危険の為、禁止といたします。
- ラン** 1周2.5kmのコースを4周します。レースNo.は前面につけてください。
- 左側通行。追い抜きは一声かけて右側から。
- エイドにて給水を受ける場合は、減速して。受け取る意志表示をお願いします。
- ごみは散乱しないようご協力ください。
- フィニッシュ** フィニッシュは、レースナンバー、身なりを整え、サングラスは外して。
- 総合フィニッシュは専用コースとなります。
- 同伴フィニッシュは、他の選手に配慮願います。許可を含め、スタッフの指示に従ってください。
- 多人数での同伴は控えてください。希望に沿えない場合もあります。
- フィニッシュ後もレースNo.ゼッケンは必要です。破棄、紛失しないでください。
- ペナルティ** 競技規則、大会規則に違反、及び危険が予測される場合はスタッフより声かけ、注意、警告があります。安全にレースが行えるよう指示に従ってください。
- 競技規則に違反した場合には、審判員より、ストップ&ゴー、タイムの加算、注意、警告が与えられます。悪質者は、失格となります。また、違反、失格のコールに、注意、警告は必要とされません。
- 審判員の判断、他の競技者への意見、競技会場への意見は、審議委員会まで(本部に設置)。
- 詳細は、TRIJni競技規則を参照ください。

制限時間 最終ウェブのスイムスタートから、スイム：55分、バイク：3時間、
総合フィニッシュ4時間。ただし、当日の気候により、これらより、短い時間を設定する。

当日の予想最高気温や、熱中症アラートなどを参考とし、実行委員会より発表する。

競技の途中で、変更となる場合もあります。スタッフの指示に従ってください。

レースの継続が不安となる選手へは、スタッフから、中止の指示を出します。従ってください。

お帰り レース後は体力や、疲労の蓄積があると思われます。お帰りの際は、交通事故等十分にご注意願ひ、
休憩は早めに、細かく取るようご配慮願ひます。

退園の駐車場出口が、大変、大変、込み合います。分散：早めの退園を願ひします。

1号線方面、桑名、弥富、飛鳥村方面が比較的空いています。

コンディションにご注意願ひ、お越しいただきますよう、お待ちいたしております。無理な参加、交通事故等には、くれぐれもご注意願ひます。

ご不明な点は、事前にお問ひ合わせ願ひます。規則等については当日、審判員にお尋ねくださっても結構です。

会場は、国営公園のため、園内及び周辺で次のことは禁止とします。退場や関係機関への報告等の措置をとります。

措置における賠償、補償等はありません。

・利益やそれに伴う行為、広告、宣伝、あっせん、勧誘、企業、団体の紹介、広報等

・一般道徳、公共の秩序に反する行為、反社会的団体や関係者、それに類する関係者の入園

・会場周囲の一般道に駐車することやごみの散乱は、おやめください。大会運営に地域住民の賛同が必要です。

木曾三川トライアスロン大会実行委員会から、大会保険に入りますが、補償内容は査定の範囲内です。

実行委員会 〒503-0627

岐阜県海津市海津町七右衛門新田1731

木曾三川トライアスロン大会実行委員会

委員長 若山 春夫

TEL 090-5009-0277

FAX 0584-54-5506

競技内容の質問は、大会名を添えて gtu@live.jp 桑原まで

岐阜県トライアスロン ホームページ

<http://gifu-triathlon.jp/>